

盛岡市遺跡の学び館

平成21年度 館報



台太郎遺跡 第68次調査区全景

盛岡市遺跡の学び館

はじめに

盛岡市は南部盛岡藩の城下町として、また岩手県の県都として、多くの先人が築いた礎のもと、今日まで発展してきました。当市の目指すまちづくりは「人々が集まり、人にやさしい・世界に通ずる元気なまち盛岡」をスローガンとし、また教育施策の基本理念の教育ビジョンでは、「ふるさとの文化の継承・創造・発信」を施策の柱としています。

そのような自然景観や歴史文化が維持され、「社と水の都」として知られる盛岡市は、岩手山や姫神山などの秀峰を望み、北上川をはじめ、市内をいくつもの清流が悠々と流れ、当館も雫石川南岸に広がる緑豊かな市中央公園の一角に位置しております。広大な公園内には岩手県立美術館・盛岡市先人記念館・盛岡市子ども科学館の博物館・美術館施設も設置され、近隣する原歌記念館を加え、付近は美術・人物・科学・歴史とジャンルの異なる5施設が集中する名実ともに文化の継承・創造・発信のミュージアムゾーンとなっております。

当館は平成16年度に埋蔵文化財の調査・整理・収蔵を行なう埋蔵文化財センター機能と、出土品の展示や遺跡についての体験学習などが行なえる博物館機能を兼ね備えた施設として設置されました。

毎年、発掘調査は市内各所で実施され、21年度は38地点で調査が行われました。特に大規模区画整理事業として平成4年度から実施されている盛南開発事業関連調査では、本宮・向中野地区の4遺跡9地点を対象に行なわれ、また民間開発・市公共事業及び個人住宅建築など、さまざまな要因による発掘調査（本調査・試掘調査）を含めると、平成21年度の調査面積は33,000㎡以上にも及びます。その調査成果は逐次、正式な報告書として刊行しますが、本書では速報として概要をまとめました。

また調査成果を公開・活用を行う学芸事業では、昭和40年代に市内厨川地区で発見された縄文時代草創期から早期の土器群を取り扱い、「最古の土器-盛岡の縄文時代草創期～早期の上器文化-」と題して、企画展や調査報告会を開催いたしました。また地元の考古学者武田良夫さんをお招きし、大新町遺跡を発見・調査を開始して40年と節目の年でもあることから、武田さんに当時の遺跡発見のエピソードや岩手県の考古学史にも残る貴重な研究史についての特別講演会を行っていただき、好評を博しました。

併せて企画展のほかに、体験学習事業など多様な事業も実施してまいりましたが、これからも市民をはじめ、多くの皆様をお迎えできるように、内容の充実を図りまして職員一同励んでいきたいと存じます。今後とも関係各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年2月

盛岡市遺跡の学び館

館長 亀山 助正

例 言

- 1 本書は、盛岡市遺跡の学び館の平成21年度館報である。
- 2 本書の編集執筆は、当館職員が協議して行った。
- 3 IV-3の埋蔵文化財発掘調査の記載内容は、平成21年度に当館が行った発掘調査の概略をまとめたもので、一部の遺跡については報告書刊行済みであるが、大半は今後別途刊行予定である。
- 4 IV-3の埋蔵文化財発掘調査の記載についての例言は以下のとおりである。
 - (1) 遺構の平面位置は平面直角座標X系を座標変換した調査座標で表示した。なお、座標は日本測地系を使用している。調査座標軸は第X系に準じる。座標原点は以下のとおりである。
 - ・稲荷町遺跡 X = -32,200,000 Y = +24,000,000
 - ・西黒石野遺跡 X = -29,000,000 Y = +27,000,000
 - (2) 高さは標高値をそのまま使用している。
 - (3) 土層図は堆積の仕方を重視し、線の太さを使い分けた。土層注記などは本文でふれる以外は割愛した。層相の観察にあたっては、『新版標準土色帖』（1994小山正忠・竹原秀雄）を参考にした。
 - (4) 遺構記号は堅穴住居跡：RA、建物跡：RB、柱列跡：RC、土坑：RD、竪穴：RE、焼土遺構RF、溝跡：RG、配石・集石遺構：RH、古墳など：RXとした。
但し、志波城跡の関連遺構である新堰端遺跡の溝跡については城柵・城館の遺構記号に従い、「SD」とした。
 - (5) 本書に使用した地図は、「盛岡広域都市計画図1:10,000」、「盛岡市遺跡地図2008年版」ほかを縮小して使用。スケールは任意であるが、およそ1:15,000～1:20,000である。
 - (6) 発掘調査にともなう記録や出土遺物は、当館で保管している。

目 次

はじめに 例言 目次

I 沿革	1
II 施設概要	2
III 管理運営 条例・規則等 職員体制	4
IV 事業概要	
1 管理運営	5
・遺跡ネットワーク整備委員会 ・利用者数一覧	
2 学芸事業	7
3 埋蔵文化財発掘調査	15
○学術調査	17
○公共事業関連	17
○民間開発関連	20
○個人住宅建築等	26
報告書抄録	29

I 沿 革

1 (仮称)盛岡市文化財センター建設事業

平成12年12月24日未明の「文化財調査室」の火災事故以後、防災に強い施設整備に向けて、平成13年5月より(仮称)盛岡市文化財センター建設構想に係る庁内外との協議(企画調整課・財政課・管財課・契約検査課・公園緑地課・建築営繕課・地域整備公団)を開始し、総合計画との関連及び予算措置・建設用地等についての協議をおこなった。各関係機関との協議を経て、同年7月に文化庁から埋蔵文化財センター建設事業(国庫補助)について、平成14年度の事業実施の方向性を助診。建設用地は市先人記念館・子ども科学館・県立美術館の立地する盛岡市中央公園地内を候補地とし、諸機関との調整の上、同年8月に事業開始となった。

平成13年度は(仮称)盛岡市文化財センター建築基本設計及び展示構想策定業務委託、ボーリングによる地質調査、給排水設備工事を実施。建築基本設計は指名競争入札により業者を決定したが、展示構想策定業務についてはプロポーザル(書類審査)方式で行なうこととし、受託者選定委員会を開催し、業者を選定した。

平成14年度は建築実施設計・展示施設計画策定

業務委託・建築工事・土木工事を実施。実施設計を受け、9月26日から建築工事に着手。14年度では全体の47%が完成した。展示施設計画策定業務委託では展示構想に基づき、展示室内における展示手法・演出方法等について検討し、展示施設製作に向けての方向性を策定した。

平成15年度は建設事業の最終年度にあたり、建築工事・展示施設製作・簡易リフト設置工事・敷地植栽工事・備品購入を実施した。建築工事は11月28日に完了し、12月下旬には津志田地内にあった「文化財室」(旧中央卸売市場事務所棟)から文化財調査資料整理作業の機能を移転し、当施設において作業を開始した。

展示施設製作は11月まで施工会社での模型や展示什器、各種演出に係る装置の製作を行い、11月の施設引渡しを受けて現地での製作に着手。各種グラフィックパネルの製作を経て、翌年の2月25日に作業を完了。各種備品購入や機器取り付けも同3月までに完了し、施設名称を「盛岡市遺跡の学び館」と定め、平成16年6月1日に開館式典を挙行し、同日開館した。

2 事業経過

平成13年度	「(仮称)盛岡市文化財センター建築基本設計」策定、展示構想策定業務、地質調査
平成14年度	建築実施設計、展示施設計画、建築工事・土木工事
平成15年度	建築工事・土木工事、展示施設製作業務委託、盛岡市遺跡の学び館設置条例制定
平成16年度	盛岡市遺跡の学び館施行規則制定
平成16年6月1日	盛岡市遺跡の学び館開館
平成22年3月末	開館以来利用者数75,757人

3 事業費等

・建設事業費 677,123千円（国庫補助210,000千円・県補助105,000千円）

総事業費	677,755千円	建築設計	株式会社三衛設計舎
建築設計委託	24,985	展示施設構想策定・製作	株式会社丹青社
建築工事費	455,490	建築主体工事	株式会社阿部正工務店
土木工事費	43,543	敷地造成工事	有限会社東北農林建設
展示計画策定業務委託	8,820	電気設備工事	新興電機株式会社
展示施設製作業務委託	91,308	給排水設備工事	有限会社門坂工業
備品購入費	44,700	機械設備工事	中央水土木株式会社
その他	6,909	地質調査業務委託	旭ボーリング株式会社
		敷地植栽工事	株式会社やまいわ
		簡易リフト設置工事	三機商事株式会社

II 施設概要

施設の名称と位置	名称	盛岡市遺跡の学び館		設置	平成16年3月31日
	住所	岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1		開館	平成16年6月1日
施設の概要	構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造平屋（一部重層）			
	敷地面積	5,788.8㎡	建築面積	2,639.9㎡	延床面積
室名と面積	展示部門	常設展示室(450.8㎡)、企画展示室(81.4㎡)、展示器材室			
	教育普及部門	研修室(117.0㎡)、図書資料室(47.7㎡)、図書室(66.3㎡)、体験学習室(70.9㎡)、研修機材室、学習器材室等			
	収蔵部門	保管展示室(897.3㎡・1階517.8㎡・2階379.5㎡)、特別収蔵室(46.5㎡)、写真収蔵室(27.2㎡)、図面収蔵室(27.2㎡)			
	調査整理部門	資料整理室(237.2㎡)、遺物洗浄室(37.1㎡)、写真撮影室(28.8㎡)、保存処理室(14.7㎡)			
	管理部門	会議室(30.8㎡)、事務室(137.7㎡)、荷解室(24.5㎡)、休憩室(12.7㎡)			

【収蔵資料】

資料区分	細区分	内 容	点 数
考古資料	調査資料 (完形品等)	・土器・土製品・石器・石製品・陶磁器・鏡・古銭 ・金属器・木製品・瓦・装身具・小判・経石等	約5,300点
	調査資料 (破片等)	・プラスチックコンテナ収納(土器・石器破片、骨角器、自然遺物含む) ※大コンテナ503×700×397mm、小コンテナ387×586×142mm	大300箱 小15,500箱
	寄贈・寄託資料	・奥健夫氏寄贈考古資料 ・一本松経塚・安倍館遺跡出土遺物ほか	1,740点 2点
標本等	模型・レプリカ	・模型・レプリカ・土壌サンプル等	—
調査記録資料	図面	・図面（原図・第2原図・遺物実測図等）	約3,200枚
	写真	・写真（モノクロ・カラーネガ：35mm、6×7、4×5） ・カラーライド（35mm、6×7） ・デジタル画像（700MB:C・D・D・V・D）	約130,000コマ 約44,000コマ 約200枚

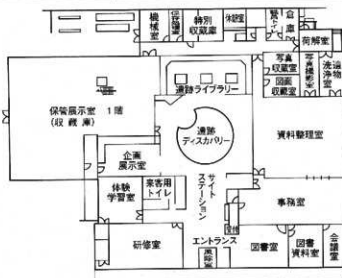
【業務の内容】

- ア 埋蔵文化財の発掘調査
- イ 発掘調査資料の整理
- ウ 出土品等の収蔵・展示及び活用
- エ 教育普及活動

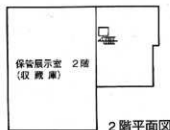


【事業費】（平成21年度決算額）

事業名	事業費(決算額)	事業内容
管理運営事業	15,951千円	・施設設備の維持管理及び修繕、遺跡ネットワーク整備委員会の開催経費等
学芸事業	3,631千円 (うち国補助1,318千円)	・テーマ展、企画展、調査資料展、体験学習会、普及資料の作成、資料管理システム製作等
盛岡遺跡群発掘調査事業	6,394千円 (うち国補助2,750千円、 県補助1,100千円)	・個人住宅建築に係る事前調査及び指定史跡の内容確認調査等（発掘調査、資料整理及び発掘調査報告書の刊行）
埋蔵文化財調査事業	728千円	・公共事業（市道建設、上下水道工事等）にともなう発掘調査
盛南開発地区埋蔵文化財発掘調査活用事業	32,101千円 (うち国補助16,900千円、 受託事業収入12,000千円)	・盛南開発事業に係る発掘調査及び活用事業



1階平面図



2階平面図



外観



展示室（遺跡ライブラリー）

第1図 館内平面図・外観・内部展示室写真

III 管理運営

1 条例・規則等

盛岡市道跡の学び館条例

平成16年3月31日条例第29号

(趣旨)

第1条 この条例は、道跡の学び館の設置及び管理に關し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 市民の教育及び文化の向上に資するため、道した歴史文化遺産を展示し、及び資料について体験的に学習する場を提供する施設として、道跡の学び館を設け、並びに運営する。

名 称	設 置 所
盛岡市道跡の学び館	盛岡市本宮字釜原1番地1

(使用の許可等)

第3条 道跡の学び館を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

第4条 教育委員会は、道跡の学び館の使用が次の各号のいずれかに該当するときは、第3条の許可をしないものとする。

- 1 会の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- 2 騒音又は設備を損壊し、損傷し、又は欠陥を生じおそれがあるとき。
- 3 前2号に附するものほか、道跡の学び館の管理上適当でない認めるとき。

第5条 教育委員会は、道跡の学び館の管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付すことができる。

第6条 歴史文化遺産に関する資料の撮影、転写等しようとする者は、教育委員会長の許可を受けなければならない。

第7条 重要文化財及び第3条の規定は、複製の許可について準用する。

(許可の取消し等)

第8条 教育委員会は、道跡の学び館の管理上必要があると認めるとき又は第3条第1項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)若しくは前条第1項の許可を受けた者(以下「許可取得者」という。)が次の各号のいずれかに該当するときは、第3条第1項若しくは前条第1項の許可を取り消し、第3条第3項(前条第2項において準用する場合を含む。以下同じ。)の命令を発令し、又は行為の中止若しくは道跡の学び館からの退去を命ずることができる。

- 1 この条例又はこの条例に基きおかしな行為をしたとき。
- 2 第3条第1項の不正の手段により第3条第1項又は前条第1項の許可を受けたとき。
- 3 第3条第1項又は前条第1項の許可を受けた後において第3条第2条第3号(前条第4条第2項を含む)の要件を欠き、おかしな行為をしたとき。
- 4 第3条第1項の要件に違反したとき。

(禁止行為)

第9条 発行者又は特別利用者は、道跡の学び館において次に掲げる行為をしてはならない。

- 1 許可を受けずに物品の展示その他の行為をするとき。
- 2 許可を受けずに設備、ガス・クーラー等を動かす、又は騒音すること。

(使用料)

第10条 発行者から発行者以外の者に使用料を徴収する。

第11条 前項に定めるもののほか、道跡の学び館を使用する者から発行者に定める使用料を徴収する。

第12条 使用料は、第3条第1項の規定の範囲を超えて徴収する。

(使用料の賦課)

第13条 市民は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用料を免れることができる。

- 1 第3条第1項の不正の手段により第3条第1項又は前条第1項の許可を受けたとき。
- 2 第3条第1項又は前条第1項の許可を受けた後において第3条第2条第3号(前条第4条第2項を含む)の要件を欠き、おかしな行為をしたとき。
- 3 第3条第1項の規定に基きおかしな行為をしたとき。

(特別利用)

第14条 使用料又は特別利用者は、自己の責めに帰すべき理由により前記、設備又は施設の内部に、撮影し、又は欠陥を生じおそれがあるとき、教育委員会の指示によることにより撮影し、又は撮影を禁止しなければならない。

(罰則)

第15条 道跡の学び館に総務のほかに必要職員を置く。

(委任)

第16条 この条例に定めるもののほか、第3条から第9条までにおいて必要な事項は、その道跡の学び館の管理に關し必要な事項は教育委員会が定める。

附 則

1 この条例は、教育委員会規程で定める日から施行する。

(平成16年教育委員会規程第7号で平成16年6月1日から施行)

2 盛岡市道跡の学び館(昭和52年条例第10号)の一部を次のように改正する。

(改正のよう) 略

別表第1(第7条第1項)

(1) 採入後の使用料

区分	個人使用料(1人1日につき)	団体使用料(1人1日につき)
一般	2,000円	1,000円
小学生・児童及び小学校教育	2,000円	800円

備考

1 団体使用料は、20人以上の団体で責任者のあるものについて適用する。

2 前項に定める日に従って定める中学校校長及び小学校校長が5人以上で適用する。

場におけるこの表の適用については、「100円」とあるのは「300円」と、「800円」とあるのは「1400円」とする。

(3) 研修及び体験学習の使用料

区分	午前9時から午後5時までの午後1時から午後3時までの		午前9時から午後5時までの
	研修	体験学習	
研修	1,000円	1,500円	2,000円
体験学習	2,000円	2,500円	4,000円

盛岡市道跡の学び館管理運営規則

平成16年5月31日教育委員会規程第8号

正 平成17年3月29日教育委員会規程第4号

(趣旨)

第1条 この規則は、道跡の学び館の管理運営の基本的な事項に關し必要な事項を定めるものとする。

(施行期日)

第2条 道跡の学び館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育上又は必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(休館日)

第3条 道跡の学び館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育上又は必要があると認めるときは、臨時に開館し、又はこれら以外の日の休館に休館することができる。

- 1 月曜日(その日(元旦を除く。)が国民の日に属する日除く(昭和23年法律108号)に規定する休日(以下「休日」という。))に当たるときは、その日においてその日に無効な休日ではない日。
- 2 新年の最初の火曜日(休日を除く。)
- 3 12月29日から翌年の1月3日までの日一節除く(平成17年条例第4号)

(許可の申請)

第4条 盛岡市道跡の学び館申請(平成16年条例第29号、以下「条例」という。)第3条第1項の許可のうち、道跡の学び館の展示室に係る第3条第1項の許可をしたときは、次の各号に關する使用料の免除に關し、当該各号に定めるものは入場券を交付するものとする。

- 1 団体利用 盛岡市道跡の学び館展示室団体入場券
- 2 個人利用 盛岡市道跡の学び館展示室個人入場券

第5条 条例第4条第1項の許可を受けたときは、道跡の学び館を使用しようとするときは、前項の規定により交付された入場券又は入場券を所定の場所で換領し、提示しなければならない。

(資料の提供利用)

第6条 条例第4条第1項の許可を受けようとする者は、盛岡市道跡の学び館資料特別利用許可の届書に提出しなければならない。

第7条 届書は、条例第4条第1項の許可を付したときは、盛岡市道跡の学び館資料特別利用許可を交付するものとする。

(複製)

第8条 この規則に定めるもののほか、道跡の学び館の管理に關して必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この規則は、条例の施行の日(平成16年6月1日)から施行する。

正 (平成17年教育委員会規程第4号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

盛岡市道跡の学び館の使用料に関する規則

平成16年5月31日教育委員会規程第27号

(趣旨)

第1条 この規則は、道跡の学び館使用料(平成16年条例第29号、以下「条例」という。)の規定に基づき、道跡の学び館の使用料に關し必要な事項を定めるものとする。

(使用料の賦課の特例)

第2条 条例第7条第2項の規定で定める使用料は、前項のとおりとする。

(免状の申請)

第3条 条例第8条の規定により使用料の免除を受けようとする者は、盛岡市道跡の学び館資料特別利用申請書を作成し提出しなければならない。

第4条 前項の規定にかかわらず、条例第8条第1号に規定する届書で次に掲げる内容の交付を受けているもの(その者の保護者が交付を受けているときは、本人)又は前項に規定する届書等であることを示す資料を有するもの(以下「申請状等」という。)及び当該申請状等交付等の申請を行つた道跡の学び館の展示室を個人で

使用する場合等により手帳送付書等の履歴の学び館の履歴又は修習者履歴を全て使用する場合の両方の履歴の表示については、当該手帳送付書等において当該手帳又は両方の、当該手帳送付書等の内容を行う者によって当該手帳送付書等を行う手帳送付書等による当該履歴の表示をもってこれ代えることができる。

(1) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第1項の身体障害者手帳
 (2) 遺傳障害及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第1項の遺傳障害者保健福祉手帳
 (3) 戦傷病者特別優遇法（昭和28年法律第168号）第4条第1項の戦傷病者手帳
 (4) 知事指定普通手帳交付規則（昭和40年告示第1400号）第2条の知者手帳
 (5) 第1項の規定にかかわらず、条例等に基づいて規定する者であることとする

第5条 学び館の運営に関する事項を定める日、及び学び館の所在地を定める日、及び学び館の所在地にある中学校（定数中学校を含む。）及び小学校（併設小学校を含む。）に就学しているものとする。

附 則
 この規則は、発布の日（平成16年6月1日）から施行する。

別表（第2条関係）

区分	使用料		
	単位	金額	
組合設備	組合（組合費）	1台	200円
	組合（組合費）	1台	520円
学習設備	ステージ	1台	130円
	音響機器	1式	1,500円
	スピーカー	1式	200円
映像設備	マイクスタンド	1式	150円
	スクリーンプロジェクター（ケース付）	1式	200円
	マルチプロジェクター	1式	1,300円
	ビデオ・録画VTRプレイヤー	1台	200円
実習用設備	テレビ	1台	200円
	電気洗濯機	1臺	2,000円
	常備炊くろ	1台	300円
	手洗い水槽	1台	130円
	グラウンダー	1台	300円
	電動車の二輪	1台	300円
その他の設備	ふしぎな箱	1台	200円
	植物観察パネル	1式	200円
	活動用スクリーン	1台	130円
冷気機器に係る電気費用	1ヶ月分あたり	100円	

備考 午前9時から午後5時まで使用する場合の使用料の額は、この表に掲げられているを基として算定する。

2 職員体制

館長(兼) 武藤 英 富 (21年度)

館長補佐(兼) 千 田 和 文

〔管理・学芸班〕

(主査1 主事補1 非常勤3)

主査(兼) 杉 浦 雄 治
 主事補(兼) 明 地 幹 子
 文化財調査員(非常勤) 吉 田 里 和
 学芸調査員(非常勤) 相 馬 容 子
 学芸調査員(非常勤) 佐々木 逸 人

〔調査班〕

(主査2 主任2 非常勤2)

文化財主査(兼) 菊 地 幸 裕
 文化財主査(兼) 津 嶋 知 弘
 文化財主任(兼) 神 原 亮 一郎
 文化財主任(兼) 佐々木 雄 二
 文化財調査員(非常勤) 鈴 木 賢 治
 文化財調査員(非常勤) 佐々木 紀 子

IV 事業概要

1 管理運営

・盛岡市遺跡ネットワーク整備委員会

盛岡市における中核史跡や重要遺跡の保存活用のため、遺跡整備の基本的方向を定めることを目的として平成12年に設置。遺跡の学び館の開設を機に、当館の運営に関することについても所掌することとした。

【期 日】平成22年2月22日(月) 14:00～15:30 【会 場】当館 研修室

【出席者】委員：委員長 嶋 千秋（盛岡市文化財保護審議会委員）

熊谷 常正（盛岡大学文学部教授）

瀬川 君雄（湘東広社常務取締役）

大橋文四郎（盛岡市小学校長会岩手手人学教育

学部附属小学校副校長）

教育委員会 佐藤義見教育次長

武藤英富歴史文化課長兼遺跡の学び館長

歴史文化課及び当館職員

【議 事】報告 ・平成21年度遺跡の学び館事業報告

・関連する文化財保護事業及び史跡整備・保存管理策
 定業務について

協議 ・平成22年度遺跡の学び館事業計画（案）について



史跡の活用（志波城古代公園）

年度 月	一										小・中・高					入塾以外の 利用者数			年度 合計																
	有料入塾者数					入塾料免除					有料入塾者数			入塾料免除			入塾 者数 合計	入塾 料 合計		入塾 者 以外 の 利用者 数															
	個人	団体	小計	手帳	その他	習字	算数	国語	英語	その他	小計	講習	個別	小計	講習	手帳					その他	小計	講習	手帳	その他	小計									
																											個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人
H21 4月	52	4	22	2	120	2	3	0	19	5	9	1	7	105	226	123	21	144	0	0	0	114	114	258	484	464	12	213	84	0	793	25			
5月	265	36	32	7	342	2	38	11	24	12	20	5	6	118	660	591	70	861	0	0	1	61	39	101	762	1,222	9	620	167	0	2,018	26			
6月	118	52	7	2	179	2	5	0	20	14	4	1	53	232	188	141	327	0	0	0	0	12	112	439	671	2,377	3	488	72	31	1,265	24			
7月	140	140	31	4	315	4	22	23	0	6	23	9	6	93	408	203	13	216	0	50	50	2	15	9	26	700	3,077	14	368	72	0	1,152	26		
8月	354	9	79	6	468	7	17	2	38	1	33	15	12	125	613	381	29	401	0	0	0	7	0	18	25	426	1,039	4,116	9	612	89	39	1,782	26	
9月	138	6	36	2	182	1	10	4	35	19	50	10	1	136	318	221	122	343	0	0	0	0	72	72	415	733	4,949	7	339	50	132	1,264	25		
10月	122	2	10	3	137	1	8	20	72	4	16	8	1	85	217	82	24	106	0	0	0	21	56	77	183	400	5,249	2	170	80	419	1,060	26		
11月	118	28	14	2	182	1	37	2	0	0	16	4	3	63	225	101	0	101	0	0	0	2	0	0	2	103	328	5,377	3	97	0	0	428	25	
12月	69	27	13	2	111	3	40	111	3	4	9	4	6	180	251	22	12	34	0	35	35	4	16	0	20	89	380	5,367	7	113	140	72	715	24	
H22 1月	186	72	23	3	284	5	2	34	0	4	3	6	59	343	159	18	177	0	0	0	0	0	0	0	0	177	520	6,477	3	341	79	0	943	23	
2月	82	0	6	2	70	1	7	34	0	0	14	7	1	64	134	23	0	23	0	0	0	19	0	19	42	176	6,653	9	40	239	0	464	23		
3月	119	0	9	1	129	29	20	77	43	0	7	12	19	207	336	65	0	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	1	0	0	603	25
計	1,629	318	260	35	2,519	36	212	286	298	65	205	91	69	1,294	3,803	2,167	441	2,568	0	65	65	16	132	420	568	3,251	7,054	7,088	85	3,488	1,194	693	12,604	236	

(注1) 団体等に二重カウントをさせていただきます。
(注2) 個別行庫とは玉巻行庫のうち、年間通帳や振込明細票、別添地を利用している行庫を指します。
(注3) 2層庫・4層庫とは、当該町内庫のうち、2層庫または4層を利用できる店舗です。

表1 平成21年度 盛岡市選抜の学び館利用者数

2 学芸事業

今年度の当館主催の学芸事業として企画展示室においてテーマ展・企画展、21年度調査資料展を開催したほか、市民参加による体験学習会（全5回）、ゴールデンウィーク・夏休み・冬休み期間中の個人体験学習会などを開催した。また発掘調査現地での説明会の実施、学び館特報や普及資料の発行、さらに出前講座、博物館実習をはじめ、各種実習・研修・行政視察等の受入を行った。各種展示普及活用事業及び常設展示室整備・資料管理システム整備には市費及び埋蔵文化財保存活用整備事業（国庫補助）を活用した。

(1) 展示公開・普及活動

【展示会】

タイトル等	テーマ展「遺跡に魅せられた人々-寄贈収蔵資料展-」	会場	当館企画展示室
開催期間	平成21年6月24日(水)～平成21年9月13日(日)	来場者数	2,258名
展示構成	I 好奇から科学へ、II 山藤コレクション①小田高塚部と隈北地方の遺跡、②小田高塚部と米沢直次、III 奥健夫氏の蒐集考古資料と歳暮の展示	展示資料数	846点
概要	平成16年6月の学び館開館以来、これまで当館及び市に寄贈された山藤新作氏・奥健夫氏蒐集考古資料及び林淑子氏寄贈考古資料を中心に展示公開した。戦前から先人の歴史的遺産に魅了され、その蒐集とご研究に努められた方々をご紹介しますと共に、岩手の考古学の流れを追いながら、蒐集資料を多数展示した。岩手考古学の黎明期に著された『盛岡市史』『岩手県史』掲載された学史的にも貴重な資料も含まれている。		
作成資料	ポスター・チラシ・展示解説及び展示資料一覧		
タイトル等	第8回企画展「最古の土器-盛岡の縄文時代草創期～早期の土器文化-」	会場	当館企画展示室
開催期間	平成21年10月22日(木)～平成22年1月24日(日)	来場者数	1,339名
展示構成	I 岩手山の分火山灰と遺跡、II 遊動的な生活から定住へ、III 土器の登場、IV なぜ、とんがり底か、V 縄文早期のムラ、VI 各遺跡の概要、冨武田良さんと大新町遺跡の発見	展示資料数	546点
概要	盛岡周辺は縄文時代草創期（約12,000年～10,000年前）から早期（約10,000年～6,000年前）の間、安定した生活・生活の中で育まれた数々の土器文化が開花し、器形・文様など造形的にもバリエーションに富んだ数多くの土器が発見されている。本展示では草創期の爪形文土器、早期の押型文・沈線文土器群を大量に出土した大新町遺跡を始め、北上川本支流域の遺跡から出土した盛岡地域最古の土器文化の様相について資料集をまとめ、主な尖底土器を中心に展示公開した。		
作成資料	資料集・ポスター・チラシ・展示解説及び展示資料一覧		
タイトル等	第27回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘するー平成21年度調査速報ー」	会場	当館企画展示室
開催期間	平成22年2月16日(火)～平成22年6月20日(日)	来場者数	2,324名
展示構成	西黒石野遺跡、紫V遺跡、西鹿渡遺跡、台太郎遺跡、新塚端遺跡、稲荷町遺跡、高橋A遺跡	展示資料数	178点
概要	平成21年度に市内で発掘された遺跡の調査概要について、出土遺物・写真・解説パネル等で展示・公開した。		
作成資料	展示パンフレット・ポスター・チラシ・展示資料一覧		



テーマ展チラシ



企画展チラシ



資料展チラシ

【講演会】（企画展関連）

開催日	タイトル・講師	聴講者
平成21年 12月6日(日)	第8回企画展「最古の土器」関連事業「特別講演会と成果発表」 ○特別講演会 演題「大新町遺跡の発見」講師：日本考古学協会会員 武田良夫氏 ○成果発表① ・演題「岩手山降下火山灰と縄文土器～滝沢村出土の縄文土器と分火山灰の関係～」発表：滝沢村埋蔵文化財センター 井上雅孝氏 ○成果発表② ・演題「盛岡の縄文時代草創期～早期の土器群の様相」 発表：当館職員 神原雄一郎	111名

日本考古学協会の武田良夫さんが盛岡市新大新町遺跡を調査してから平成21年で40年目の節目の年でもあり、当時、組織的な発掘調査の礎を築いた武田さんの調査成果や苦労話についての御講演を頂いた。また同じ大新町遺跡と同じ台地に立地する滝沢村の火山灰と遺跡調査の成果及び盛岡周辺の縄文時代草創期～早期の土器群の様相についての成果発表を行った。



テーマ展「遺跡に魅せられた人々～寄贈収蔵資料展～」



企画展「最古の土器～盛岡の縄文時代草創期～早期の土器文化～」



企画展関連特別講演会



企画展関連成果発表



企画展展示説明会



第27回埋蔵文化財調査資料展

(2) 参加型体験活動

【体験学習会】

開催日	タイトル・講師	参加者
平成21年6月14日(日) 10:00～16:00	第1回「もりおか遺跡めぐりバスツアー」(市内一円) 対応:当館職員・サポーターズクラブ	31名
平成21年7月12日(日) 13:30～16:30	第2回「縄文土器をつくってみよう」(親子) 講師 当館職員・サポーターズクラブ	38名
平成21年9月20日(日) 13:30～15:30	第3回「考古学者になってみよう!遺跡発掘体験」(親子) 講師 当館職員・サポーターズクラブ	38名
平成21年10月4日(日) 10:00～15:30	第4回「日帰り!縄文キャンプ」(親子) 講師 極津末子氏(料理研究家) 支援:サポーターズクラブ	41名
平成22年2月7日(日) 13:30～16:00	第5回「あけびづるを使ってカゴ作り」(親子) 講師 佐々木光恵氏(工芸家) 支援:サポーターズクラブ	43名



第1回「遺跡めぐりバスツアー」



第2回「縄文土器をつくってみよう」



第3回「考古学者になってみよう!遺跡発掘体験」



第4回「日帰り!縄文キャンプ」



第5回「あけびづるを使ってカゴ作り」

個人体験学習会
PRチラシ



【個人体験学習会】

催事のタイトル	開催期間	体験学習のメニュー	参加者
ゴールデンウィーク 個人体験学習会	平成21年5月2日(土)～ 5月6日(日)：5日間	時間割：①10:00～ ②11:00～ ③13:00～ ④14:00～ メニュー：勾玉作り・土玉彩色・拓 本づくり(有料)、火おこし(無料)、 対応：当館職員・サポーターズクラ ブ	勾玉作り91名 土玉彩色65名 拓本5名 火おこし306名
夏休み個人体験学習会	平成21年8月5日(水)～ 8月16日(日)：11日間		勾玉作り207名 土玉彩色123名 拓本14名 火おこし523名
冬休み個人体験学習会	平成22年1月6日(火)～ 1月17日(日)：11日間		勾玉作り91名 土玉彩色58名 拓本14名 火おこし253名

昨年までの日程に春のゴールデンウィークを加え、春・夏・冬の3時期に学び館サポーターズクラブの支援を得て、事前予約なしで体験学習が行える機会を提供。期間中のべ1,082名の市民が参加した。



春の体験学習会



体験学習会PR掲示

【遺跡の学び館サポーターズクラブ】

当館の体験学習など行事運営を支援・協力するボランティア団体の「サポーターズクラブ」が発足して4年目を迎えた。本年度の会員数は14名で、当館行事の春・夏・冬の個人体験学習会・バスツアー・土器作り・野焼き・遺跡発掘体験や地元SC施設でのもりとびあねつとPRなどの支援事業を中心に精力的に活動をしていただいた。



また自主活動として土器作りの技術向上のための勉強会や会員の親睦・史跡見学・他地域のボランティアとの交流を兼ねた研修旅行(研修先：青森県立郷土館・国特別史跡三内丸山遺跡 期日：平成21年11月8日(日))を企画し、13名が参加された。またサポーターズクラブの意見交換や事業記録として「サポーターズ通信」の編集刊行も行った。



館内での支援活動

館外での支援活動



研修旅行

【みつけクラブ】

歴史や考古学に興味のある子どもたちに対して、遺跡や文化財について学び、体験する機会を提供するため、小・中学生を対象に募集を行い、年間を通じて体験学習プログラムに沿った活動を行なった。本クラブ名の“みつけ”とは、当館のマスコットキャラクターの愛称で、クラブは平成18年度から募集を開始し、本年度の会員は4期生となり、小学生10名を対象に活動を行なった。会員には年度内有効の会員証を発行し、展示室使用料が免除となる特典がつくほか、当館主催の体験学習会（遺跡めぐりバスツアー、縄文土器をつくってみよう、考古学者になってみよう、日帰り縄文キャンプ、あけびづるを使ってカゴ作り）に率先して参加していただいた。縄文キャンプの堅穴住居づくりでは、お父さん方が柱立てを行い、父権復活の場面も見られた。



みつけ



10月の「日帰り縄文キャンプ」に参加した会員



2月28日のクラブ閉校式

(3) 地域連携活動

【もりとびあねっと】

「もりとびあねっと」（もりおかゆいとびあミュージアムネットワーク）は盛岡市中央公園・本宮・太田地区の博物館・美術館6施設（岩手県立美術館・盛岡市原敬記念館・盛岡市子ども科学館・盛岡市先人記念館・盛岡市遺跡の学び館・志波城古代公園）で構成されたネットワークで、平成19年度に設立。施設間の連携により、共同テーマによるイベント・展示会の開催を行い、利用者が美術・歴史・科学・先人（人物）などに対し、多角的に興味関心を持つ機会を提供し、利用促進を図るための企画を展開。平成21年度は「ぐるり☆もりとびあスタンプラリー」の開催、イベントを網羅したリーフレットの作成、隔月情報紙「もりとびあねっとだより」の刊行、地元SC施設を活用した体験講座及びPR事業などを行なった。



リーフレットとスタンプラリー台紙



地元SCでの体験学習・PR活動

(4) 研修・実習活動

【研修・実習受入】

開催日	内容	依頼団体(会場)	参加者
平成21年4月17日(金)	市教育委員会初任者研修	市教育委員会学校教育課 (遺跡の学び館)	16名
平成21年4月17日(金)	市役所新採用職員研修	市職員課 (遺跡の学び館)	59名
平成21年7月27日(月) ～7月31日(金)	インターンシップ体験実習 (5日間)	盛岡公務員法律専門学校公務員 ビジネス科Ⅲ種・初級コース 1年(遺跡の学び館)	4名
平成21年8月4日(火)	盛岡市教育研究所第1回公開講座	盛岡市教育研究所 (遺跡の学び館)	6名
平成21年8月18日(火) ～8月30日(日)	博物館実習(第1期:5日間、第 2期:7日間)	盛岡大学4名、北海道教育大学 1名(遺跡の学び館)	5名
平成22年1月6日(水)	教職経験者研修10年研修	岩手県立久慈拓陽支援学校 (遺跡の学び館)	1名
平成22年1月13日(水)	盛岡市教育研究所第2回公開講座	盛岡市教育研究所 (遺跡の学び館)	18名
平成22年3月9日(火)	宮古市ふれあい文化ボランティア 視察・研修	宮古市教育委員会 (遺跡の学び館)	12名

当館では、博物館実習をはじめ、各種研修・実習を積極的に受け入れることとしている。当館の博物館施設としてのあり方ばかりではなく、埋蔵文化財センターとしての機能について、実際の発掘現場調査の体験も織り交ぜ、資料の調査・整理・保管・展示活用という一連の流れを実習できるメニューを作成している。



博物館実習(課題発表)



実習生による七夕飾りの製作

(5) 出前講座・講師派遣活動

【出前講座】

開催日時	内容	講師	依頼団体(会場)	参加者
平成21年10月28日(水)	【出前講座】 「もりおかの遺跡-中津川・ 上田地区-」	佐々木光二 文化財主任	西松園ひまわりクラブ 高齢者(松園地区活動 センター)	30名
平成21年12月27日(日)	【出前体験学習】 米内の歴史を学ぶ(講話と勾 玉づくり)	学芸担当職員及 びサポーター	下米内子ども会 (山岸地区老人福祉セ ンター)	72名 (親子)

もりおかまちづくり出前講座は、盛岡市が市政に対する理解を深め、市民参加のまちづくりを推進するため、それぞれの担当部署の業務内容を中心に、職員を講師として無料で派遣するもので、21年度に当館では2件の依頼を受けて実施した。また当館では市内の各地域に係る遺跡調査の成果を中心とした歴史講話を主体としてメニューを用意しており、地域の自治会行事のほか、学校・自主研修及び子ども会行事等で当館に来館できない場合なども出前講座として職員派遣を行なった。

【講師派遣】

開催日時	内 容	講 師	依頼団体(会場)	参加者
平成21年8月1日(土)	平成21年度ふるさと歴史講座 「石器づくり体験」指導	神原雄一郎 文化財主任	釜石市教育委員会 (釜石市立公民館)	20名
平成21年8月29日(土)	「わくわくチャレンジふれあいの日」校舎外活動 トレジャーハンター講師	佐々木亮二 文化財主任	盛岡市立手代森小学校	60名
平成21年10月16日(金)	見前地区公民館「成人講座」 遺跡見学と講話「都南地区を 振る！-最近の発掘調査成果 から-」	菊地幸裕文化財 主査・佐々木亮 二文化財主任	見前地区公民館(台 太郎遺跡現地・遺跡 の学び館)	24名
平成21年11月3日(火) 文化の日	石器づくり体験学習指導	神原雄一郎 文化財主任	宮古市教育委員会 (宮古市崎山貝塚)	50名



出前体験学習(下米内子ども会)



宮古市ふれあい文化ボランティアとの交流会

(6) 職員研修活動

【専門研修派遣】

期 間	内 容	派遣職員	主催・会場
平成21年12月4日(金)	平成21年度埋蔵文化財発掘調査 技術講習会「デジタル写真の撮 影方法と印刷工程」	相馬容子 学芸調査員	財団法人岩手県文化振興事業団埋 蔵文化財センター
平成22年1月28日(木) ～2月5日(金)	埋蔵文化財担当者専門研修「報 告書作成課程」	津嶋知弘 文化財主査	独立行政法人国立文化財機構 奈 良文化財研究所
平成22年2月3日(水) ～5日(金)	平成21年度文化財等取扱講習会	相馬容子 学芸調査員	財団法人岩手県文化振興事業団岩 手県立博物館

【関連会議等出席】

期 間	内 容	派遣職員	主催・会場
平成21年8月27日(木) ～28日(金)	平成21年度岩手県博物館等連絡 協議会総会・研修会	千田和文 館長補佐	釜石市陸中海岸グランドホテル

(7) 発掘調査成果の公開及び刊行活動

【現地説明会】

開催日時	遺 跡 名 (所在地)	参加者
平成21年9月26日(土) 13:30～14:30	罫V遺跡第36次調査現地説明会(罫字館市地内)	100名
平成21年10月3日(土) 13:30～14:30	台太郎遺跡第68次調査現地説明会(向中野字台太郎地内)	70名

【埋蔵文化財調査報告書の刊行】

件名	発行日	部数	販売の有無
「盛岡市内遺跡群－平成18・19年度発掘調査報告書 宿田南経塚（宿田南遺跡）－」	平成22年3月12日	350部	公的機関に配布
「繁V遺跡－繁小学校校舎等増改築工事事業に伴う緊急発掘調査概要報告書－」	平成22年3月26日	100部	公的機関に配布

【展示会関連刊行物】

件名	発行日	部数	販売の有無
第8回企画展「盛岡の縄文時代草創期～早期の土器文化」 【資料集】	平成21年11月30日	700部	300円
第27回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘する－平成21年度調査速報－」解説パンフレット	平成22年2月16日	2,000部	無料配布
遺跡の学び館特報	平成20年3月	500部	無料配布

当館実施の発掘調査や展示会の成果を普及資料として広く公表するため、展示会資料集・解説パンフレット及び関係機関や学校などに配布する機関誌「特報」などを作成した。



繁V遺跡第36次調査現地説明会（9月26日）



台太郎遺跡第68次調査現地説明会（10月3日）

(8) 図書整備活動

【寄贈図書及び購入図書】

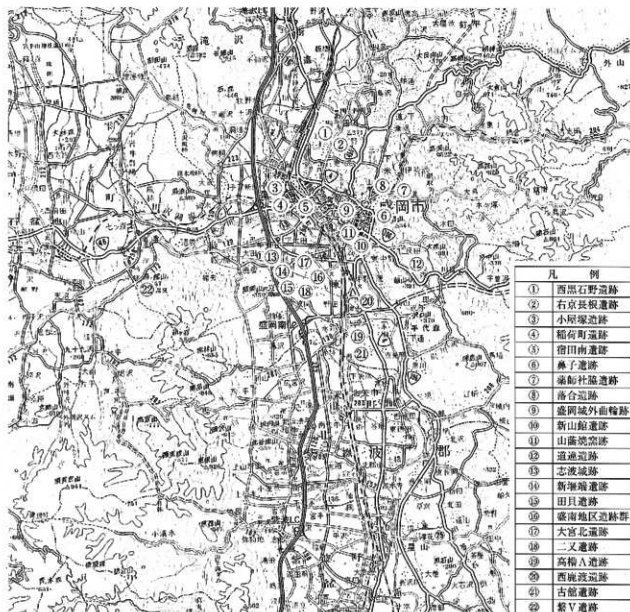
(冊)

形態	分野	内容	寄贈・購入冊数		計
			平成20年度末	平成21年度増加分	
発掘調査報告書		本報告・概報・概説書など	12,373	1,088	13,461
一般図書	考古学	日本史・郷土史など	157	36	193
	歴史学	民具・民俗芸能など	88	36	124
	民俗学	絵画・彫刻・建造物など	3	1	4
	美術工芸	動植物など	26	1	27
	自然科学	一般文化財・保存計画・保存処理・復元など	3	0	3
	文化財保護	辞典・事典など	7	0	7
	その他	図録・解説書・パンフ・レジユメなど	7	12	19
資料集	3冊以上		1,087	179	1,266
全集	論文集など		343	23	366
論集	市町村史		33	4	37
通史	雑誌・年報・館報・紀要・研究報告など		240	4	244
逐次刊行物			2,954	354	3,308
計			17,321	1,738	19,059

埋蔵文化財センターとして、全国各地の遺跡発掘調査報告書や論文集及び歴史関連図書、一般刊行物、各種パンフレットなどの資料を主体に保管収集している。これらの蔵書は図書室の開架棚で来館者が自由に閲覧できるものと、図書資料室に収蔵のうえ、受付に申し出て閲覧できる図書に区分している。

3 埋蔵文化財発掘調査

平成21年度に市教育委員会が実施した発掘調査は遺跡の学び館及び事務局歴史文化課が担当した試掘調査が24件、遺跡の学び館が担当した本調査が14件の計38件である。内訳は史跡の学術調査1件（2地点）、大規模区画整理事業関連による調査（試掘含む）が9件、学校増改築・公共福祉施設・公共下水道敷設工事等に伴う調査が3件、宅地造成等の民間開発による調査が4件、民間共同住宅・事務所建築等に伴う調査が12件、個人住宅建築等に伴う調査が9件で、調査総面積は33,776㎡となっている。その多くは盛岡南新都市開発整備事業（盛南開発）関連調査で、4遺跡9地点で実施され、調査面積は23,750㎡で全体の7割を占める。市域で調査が多く実施されたのは志波城跡を中心とした太田地区13地点、盛南開発の飯岡地区が11地点と半数以上を占め、他に上田地区2地点、厨川地区4地点、中津川地区3地点、築川地区3地点、警地区1地点、盛岡城跡を取り巻く旧市街地区1地点となっているが、玉山地区では21年度は調査等は実施されていない。本館報では遺構・遺物が検出された発掘調査（学術調査・試掘調査）を主体に記述し、その他については一覧表での記載に留めた。



第2図 平成21年度調査遺跡位置図 (S=1:200,000)

表2 平成21年度埋蔵文化財発掘調査(本調査・試掘調査)一覧

(歴史文化課・遺跡の学び館調査分)

No.	遺跡名	次数	所在地	調査事由	調査期間	調査面積 (㎡)	遺構・出土遺物
1	国指定史跡志波城跡	103	A区:下太田方八丁17 B区:下太田方八丁68地か	学術調査 (史跡整備に係る 遺構内容確認)	10/19~12/18	1,159	敷序北縁:A区587㎡, B区572㎡:近現代以降の十坑状の埋蔵10箇所, 黒瀬木遺3箇所, 遺物(平安時代の土師器・あかやき土師・須恵器破片10点, 近現代の陶器破片5点) 表土層未と遺構層遺構未(未調査) ※21年度発掘調査
2	飯岡沢田遺跡	13	飯岡前田1集落45-14地か		12/16~12/21	4,292	
3	本宮地蔵B遺跡	33	小宮字熊堂55-11地か		5/7~5/31	618	古代以降の溝跡1条, 遺物(縄文土器破片, 平安時代の土師器・あかやき土師・須恵器など)
4	台太郎遺跡	65	向中野字中野40-16地か		4/17	330	溝跡・遺物なし
5	台太郎遺跡	67	向中野字八日市場23-14地か		5/7~7/28	856	奈良・平安時代の竪穴住居跡2棟, 土坑1基, 溝跡1条, 遺物:奈良・平安時代の土師破片307点(十割器1・器, あかやき土師・須恵器など), 鉄製刀子2点など
6	台太郎遺跡	68	向中野字八日市場30-14地か	土地区画整理	7/1~11/6	1,231	奈良・平安時代の竪穴住居跡12棟, 土坑9基, 溝跡2条, 遺物:土師破片1241点, 遺物(奈良・平安時代の土師器・あかやき土師・須恵器など)コナンナ3器, 土師破片1点, 鉄製刀子1点など
7	台太郎遺跡	69	向中野字中野18-41地か		10/1~10/9	76	溝跡・遺物なし
8	台太郎遺跡	70	向中野字中野13-11地か		10/21~12/24	1,914	奈良・平安時代の竪穴住居跡4棟, 竪穴状遺構4基, 溝跡2条, 遺物(土師器・あかやき土師・須恵器)コナンナ3器
9	夕雲遺跡(試掘調査)	5	兼高寺田6地86-14地か		7/29	3,453	遺構・遺物なし
10	夕雲遺跡(試掘調査)	6	兼高寺田5地41-14地か		9/3~9/7	10,977	遺構・遺物なし
11	紫V遺跡	36	紫字館字114-1	小学校校舎増改築	5/7~12/24	1,752	縄文時代中期竪穴住居跡66棟, 土坑(貯蔵穴・竈)65基, 配石遺構1基, 柱穴300点, 平安時代竪穴住居跡1棟, 遺物(縄文時代中期の伏土10個体, 縄文時代前期~後期の土師・石器など)コナンナ350個, 平安時代の須恵器破片2点, 近30年以内からの埋蔵品など
12	船岡町遺跡	25	大船町322番11地か	共同住宅建築	5/10~5/26	540	江戸時代以降の竪穴住居跡2棟, 竪穴状遺構1基, 土坑2基, 溝跡1基, 柱穴約130点, 遺物(16世紀末~17世紀初期の陶器破片など)
13	黒石野遺跡	12	黒石野2丁目28-11地か		6/1~6/22	430	縄文時代後期竪穴状遺構10基, 江戸時代以降の大溝跡1条, 時期不詳の溝跡1条, 土坑1基, 遺物(縄文土器, 江戸時代の陶器破片)
14	高橋A遺跡	5	永井第24地294-324地か	宅地造成	6/29~7/15	1,400	奈良時代の竪穴住居跡9棟, 土坑6基, 溝跡1条, 後土遺構1基, 遺物(奈良時代の土師器・コナンナ3器, 土師破片1点など)
15	新堀尾遺跡	11	下太田新堀尾2-9	個人住宅建築	8/19~8/31	233	志波城周辺の溝跡1条, 遺物(土師器)
16	西原渡遺跡	23	本郷第2地16-334地か	個人住宅建築	6/1~6/12	80	時期不詳の竪穴状遺構1基, 土坑3基, 遺物(奈良時代の土師器・須恵器約100点)
17	高橋A遺跡(試掘調査)	4	永井第24地304-324地か	宅地造成	4/6	289	奈良・平安時代の竪穴住居跡6棟確認, 同時代の土師破片を抽出
18	古畑遺跡(試掘調査)	9	西見前第15地291-3	共同住宅建築	4/10	70	平安時代の竪穴住居跡2棟・土坑3基確認, 同時代の土師破片を抽出(遺構保存措置)
19	舟子遺跡(試掘調査)	1	東新庄2丁目81-1地か	民間福祉施設建設	5/28	138	遺構・遺物なし
20	大宮北遺跡(試掘調査)	15	本宮字小堀2-1	駐車場造成	5/19	244	平安時代の竪穴住居跡跡跡2上層1口, 土坑7基, 溝跡1基を確保, 同時代の土師破片を抽出(遺構保存措置)
21	東郷社遺跡(試掘調査)	7	浅井字橋場19-1地か	宅地造成	6/1	513	平安時代の竪穴住居跡10基, 土坑9基, ビット3口確認, 縄文・平安時代の土師破片を抽出(工事中止)
22	常盤川(試掘調査)	9	中央通1丁目987	診療所等建設	6/22	120	遺構・遺物なし
23	志波城築築後遺跡(試掘調査)	-	上殿妻五尺衛新出28-132地か	事務所建設	7/6	95	遺構・遺物なし
24	赤合遺跡(試掘調査)	16	下太田1丁目139-1の一部	個人住宅建築	8/11	96	時期不詳の土坑1基, ビット3口及び縄文時代後期~後土の遺物包含層(土師・石器)を確保
25	新堀尾遺跡(試掘調査)	10	下太田新堀尾2-9	個人住宅建築	8/11	45	平安時代の志波城跡遺構大溝跡1基確認
26	山ノ内遺跡(試掘調査)	13	上殿妻田40-112地か	下水道工事	2009/9/7~12/9(臨時)	363	平安時代の竪穴住居跡3棟, 時期不詳の溝跡1条を確認, 平安時代の土師破片を抽出
27	新堀尾遺跡(試掘調査)	12	下太田新堀尾2-13	個人住宅建築	9/18	3	溝跡・遺物なし
28	山ノ内遺跡(試掘調査)	10	北夕原第1町26-514地か	個人住宅建築	9/25	56	遺構・遺物なし
29	山ノ内遺跡(試掘調査)	24	三木塚2-39-641地か	個人住宅建築	10/7	43	遺構・遺物なし
30	山ノ内遺跡(試掘調査)	37	大船町101-1	事務所建築	10/19	537	遺構・遺物なし
31	船岡町遺跡(試掘調査)	26	大船町328-114地か	共同住宅等建築	10/26	80	中・近世の溝跡1条確認, 16世紀末~17世紀初期の陶器破片を抽出(遺構保存措置)
32	二又遺跡(試掘調査)	8	下飯野第1集落34-111地か	個人住宅建築	10/26	118	近現代以降の溝跡1条
33	山ノ内遺跡(試掘調査)	11	茶瀬2丁目31-114地か	駐車場造成	12/24	92	平安時代の竪穴住居跡2棟, 中世以降の溝跡3条確認, 平安時代の土師破片を抽出(遺構保存措置)
34	西原渡遺跡(試掘調査)	25	三木梅第2地102-321	民間福祉施設建設	12/25	282	奈良時代の竪穴住居跡2棟確認, 同時代の土師破片を抽出(本年度調査中止)
35	山原渡遺跡(試掘調査)	1	茶瀬1丁目2-234地か	共同住宅等建築	2/18	56	遺構なし 遺物では江戸後期の山崎陶器破片を抽出
36	石原渡遺跡(試掘調査)	2	結が丘1丁目59-114地か	宅地造成	3/2~3/4	1,011	縄文時代の竪穴状遺構7基, 時代不詳の土坑1基を確保(工事中止)
37	二又遺跡(試掘調査)	9	下飯野第1集落56-9	個人住宅建築	3/4	171	平安時代の竪穴住居跡6棟確認, 同時代の土師破片を抽出
38	赤合遺跡(試掘調査)	2	川目第10地76-112地か	公共福祉施設建設	3/9	412	遺構・遺物なし
				計		33,776	

○学術調査

国指定史跡志波城跡第103次（A区・B区）調査

- | | | | |
|--------|-----------------------|--------|--------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市下太田方八丁17、68 | 2 調査事由 | 学術調査 |
| 3 調査方法 | 遺構確認調査 | 4 調査期間 | 平成21年10月19日～12月18日 |
| 5 調査面積 | 1,159㎡(A区587㎡、B区572㎡) | 6 調査員 | 津嶋知弘 |
- 7 検出遺構 政庁北側：近現代以降の土坑状の掘削痕10箇所、風倒木痕3箇所
- 8 出土遺物 平安時代の上師器・あかやき土器・須恵器破片10点、近現代の陶磁器破片5点
- 9 調査概要 遺跡は市街地の南西部、北下川と半石川で形成された低位沖積段丘面に立地。昭和51年度以降の緊急調査や学術調査により、遺跡の範囲・規模などの基本的構造が明らかになり、その重要性から昭和59年に国史跡に指定。今次調査区は政庁北方の2箇所、西側のA区と東側のB区に設定し、政庁北方における遺構分布の確認を目的として調査を実施したが、近現代の土坑状掘削9箇所が検出されたのみで、平安時代の志波城期に相当する遺構は確認されなかった。



志波城跡第103次調査区位置図



第103次調査区A区全景

○公共事業関連（市公共工事関連）

(1) 繫V遺跡第36次調査（20年度からの継続調査）

- | | | | |
|--------|--------------|--------|------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市繫字館市114-1 | 2 調査事由 | 学校増改築工事 |
| 3 調査方法 | 本調査 | 4 調査期間 | 平成21年5月7日～12月24日 |
| 5 調査面積 | 1,752㎡ | 6 調査員 | 神原雄一郎 佐々木紀子 |
- 7 検出遺構 縄文時代竪穴住居跡13棟、土坑51基、柱穴271口
- 8 出土遺物 縄文土器・石器
- 9 調査概要 遺跡は市街地の西部、東流する半石川（御所湖）の南岸の段丘上に立地。調査区は昭和26年（1951）の繫小学校（当時）の校庭整地工事の際に発見された、後の重要文化財深鉢形土器7個体（伏罨）の出土地点に隣接する。「伏罨」は竪穴住居の床面下部に深鉢形土器を逆位に埋納した特殊な遺構で、今次調査でも上記の重要文化財の個体と同時期の伏罨が検出された。



繁V遺跡第36次調査区位置図



縄文時代の竪穴住居跡の出土状況



縄文時代の遺物包含層



「伏甕」の出土状況

(2) 田貝遺跡第13次調査

- | | | | |
|--------|---|--------|------------|
| 1 調査地 | 盛岡市上鹿妻田貝40-1ほか | 2 調査事由 | 下水道汚水管敷設工事 |
| 3 調査方法 | 試掘調査～本調査 | | |
| 4 調査期間 | 平成21年9月7日～12月9日の間(延べ10日間) | | |
| 5 調査面積 | 363㎡ | 6 調査員 | 今野公顕 |
| 7 検出遺構 | 平安時代の竪穴住居跡3棟 | 8 出土遺物 | 平安時代の土器破片 |
| 9 調査概要 | 遺跡は市街地の南西部、平安時代の城構志波城跡外郭南辺から南方300mに位置する。北上川と雫石川によって形成された沖積段丘面に立地し、調査は下水道敷設部分内で行なわれ、竪穴住居跡は現地表面より約0.7～1.6m下方の漸移層及び地山シルト層で検出された。 | | |



田貝遺跡第13次調査区位置図

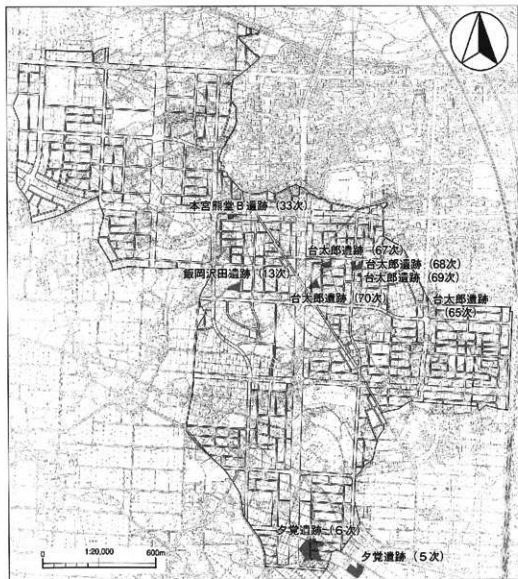


調査区全景

○公共事業関連（盛岡南新都市開発整備事業）

盛南地区遺跡群—台太郎遺跡第65・67～70次調査、本宮熊堂B遺跡第33次調査、夕覚遺跡第5～6次調査、飯岡沢田遺跡第13次調査—

盛岡南新都市開発整備事業（盛南開発）等の大規模区画整理事業に伴うもので、盛岡市都市整備部及び盛岡市再生機構は、胆野手県文化振興事業団埋蔵文化財センター及び市教育委員会（遺跡の学び館）に発掘調査の業務を委託し、遺跡の学び館では4遺跡9地点の調査を担当した。遺跡群は北上川の西岸とその支流である雫石川の南岸に広がる沖積段丘上に立地し、段丘の基本層序は基底部が水成砂礫層、上部に水成シルト層～表土で、定まらない雫石川の複雑な河道変遷により、シルト層は旧河道のみならず微高地にも堆積し、奈良・平安時代の集落はその微高地に多く分布する。台太郎遺跡は事業区内最大の古代集落跡～中世の居館跡で、今までに約600棟の住居跡を検出。第67次調査では奈良・平安時代の堅穴住居跡2棟、70次調査では同時期の堅穴住居跡4棟、堅穴状遺構4基など、第68次調査では同時期の堅穴住居跡12棟、土坑9基及び中世以降の堀跡2条などを検出。堀跡は調査区西半部で南北方向に1条、東半部でそれに直行する東西方向の堀跡が1条検出され、過去の成果と合わせると、堀を巡らした居館は不整五角形で東西170m、南北120mの規模であることが明らかになった。



第3図 平成21年度 盛南地区発掘調査位置図



本宮熊堂B遺跡 第33次調査区全景



台太郎遺跡 第68次調査区全景

本宮熊堂B遺跡は事業区内の中央部、本宮熊堂A遺跡に隣接し、南半部の野古A・飯岡沢田遺跡とは旧河道を介在する。検出遺構は多くはないが、古代以降の溝跡、遺物では縄文土器も検出された。夕覚遺跡は事業区内南端部東西方向の旧河道により南北を削られた微高地に位置する。周辺域の分布調査により、古代の遺物が確認されているため、第5・6次調査としてトレンチにより試掘調査が実施されたが、今次調査区内では遺構・遺物は確認されていない。

○民間開発関連

(1) 薬師社脇遺跡第7次調査

- | | | | |
|--------|--|--------|-----------|
| 1 調査地 | 盛岡市浅岸字橋場19-1ほか | 2 調査事由 | 宅地造成 |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査 | 4 調査期間 | 平成21年6月1日 |
| 5 調査面積 | 513㎡ | 6 調査員 | 花井正香 |
| 7 確認遺構 | 平安時代の竪穴住居跡10棟、時期不詳の土坑9基、ピット23口 | | |
| 8 出土遺物 | 縄文～平安時代の土器破片 | | |
| 9 調査概要 | 遺跡は市街地の北東部、中津川と米内川の合流点から東方250mの中津川右岸の低位段丘に立地。現況は休耕田で、計画される宅地造成計画地内に南北方向9本のトレンチを設定。現地表面より約0.25～0.5m下部の地山シルト層及び砂礫層で遺構を確認した。竪穴住居跡等の遺構の検出面からは炭化物・焼上が確認され、また灰白色火山灰を含む住居跡も認められた（遺構検出のみ）。 | | |



薬師社脇遺跡第7次調査区位置図



試掘調査状況

(2) 稲荷町遺跡第25次調査

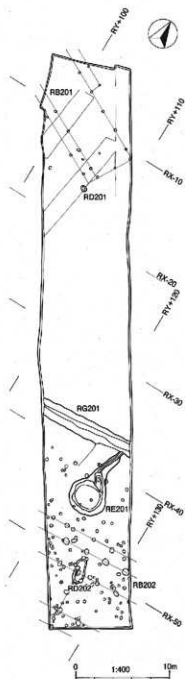
- | | | | |
|--------|---------------|--------|------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市大館町322-1ほか | 2 調査事由 | 共同住宅建築 |
| 3 調査方法 | 本調査 | 4 調査期間 | 平成21年5月10日～5月26日 |
| 5 調査面積 | 540㎡ | 6 調査員 | 佐々木亮二 |
- 7 検出遺構 江戸時代以降の掘立柱建物跡2棟、竪穴状遺構1基、土坑2基、溝跡1条、柱穴約130口
8 出土遺物 16世紀末～17世紀初頭の陶磁器破片など
9 調査概要 遺跡は市街地の北西部、半石川と諸葛川の合流点（左岸）の段丘上に立地。現況は畑地で、計画される共同住宅建築の事前調査として実施。これまでの稲荷町遺跡の調査では縄文時代の陥し穴状遺構や中世～近世の掘立柱建物跡などが検出されている。今次調査では江戸時代以降の掘立柱建物跡2棟と竪穴状遺構1基、土坑2基、溝跡1条、柱穴約130口を検出。出土遺物は安土・桃山時代～江戸時代初期の陶磁器（唐津焼皿）が1点出土した。



稲荷町遺跡第25次調査区位置図



調査区全景



第4図 調査区全体図(1:400)

(3) 稲荷町遺跡第26次調査

- | | | | |
|--------|--------------------|--------|--------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市大館町328-1ほか | 2 調査事由 | 共同住宅建築 |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査～遺構保存措置 | 4 調査期間 | 平成21年10月26日 |
| 5 調査面積 | 80㎡ | 6 調査員 | 今野公顕 |
| 7 確認遺構 | 中世～近世の溝跡1条ほか | 8 出土遺物 | 16世紀末～17世紀初頭の陶磁器破片 |
- 9 調査概要 遺跡は市街地の北西部、傘石川と諸葛川の合流点（左岸）の段丘上に立地。現況は畑地で、計画される共同住宅建築の事前調査として実施。今次調査では東側トレンチから中近世以降の溝跡1条を確認。検出面から唐津焼の小皿が出土。今次調査の南東では掘立柱建物跡や同時期の陶磁器破片も出土しており、戦国時代末期～江戸時代初頭に居館が営まれていたと考えられる（遺構検出のみ）。



稲荷町遺跡第26次調査区位置図



試掘調査状況

(4) 右京長根遺跡第2次調査

- | | | | |
|--------|-------------------------|--------|----------------|
| 1 調査地 | 盛岡市緑が丘1丁目59-1ほか | 2 調査事由 | 宅地造成 |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査 | 4 調査期間 | 平成22年3月2日～3月4日 |
| 5 調査面積 | 1,011㎡ | 6 調査員 | 花井正香 |
| 7 確認遺構 | 縄文時代の陥し穴状土坑7基、時期不詳の土坑1基 | 8 出土遺物 | なし |
- 9 調査概要 遺跡は市街地の北部、北上川左岸の丘陵地に立地。現況は畑地で、計画される宅地造成の事前協議に伴い、トレンチによる事前調査を実施。対象予定地区内の中央部及び低地を挟んだ北半部から縄文時代の陥し穴状遺構を確認した（遺構検出のみ）。



右京長根遺跡第2次調査区位置図



試掘調査状況

(5) 西黒石野遺跡第12次調査

- 1 調査地 盛岡市黒石野2丁目28-1ほか
- 2 調査事由 共同住宅建築
- 3 調査方法 本調査
- 4 調査期間 平成21年6月1日～6月22日
- 5 調査面積 430㎡ 6 調査員 佐々木亮二
- 7 検出遺構 縄文時代陥し穴状遺構10基、江戸時代以降の大溝跡1条、時期不詳の溝跡1条、土坑1基
- 8 出土遺物 縄文土器破片、江戸時代の陶磁器破片など
- 9 調査概要 遺跡は市街地の北西部、南流する北上川左岸の火山灰砂台地の緩斜面に立地。調査区上方の表土下から集中した状態で陥し穴状遺構10基を検出。周辺の状況から丘陵地一帯が狩猟場であったと考えられる。また下方から江戸期以降と考えられる大溝跡1条が検出されているが、調査区南方には旧河川が西流していた時期もあり、関連性が示唆される。



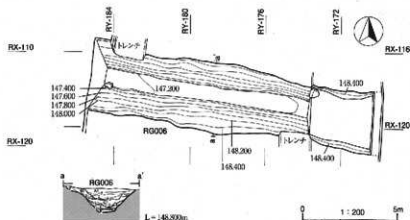
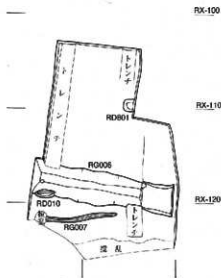
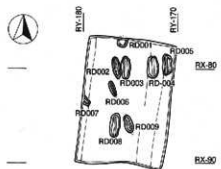
西黒石野遺跡第12次調査区位置図



調査区北半部全景



調査区南半部全景



第5図 西黒石野遺跡第12次調査区全体図 (1 : 400)

第6図 R G006大溝跡

(6) **大宮北遺跡第15次調査**

- | | | | |
|--------|-------------|--------|------------|
| 1 調査地 | 盛岡市本宮字小幡2-1 | 2 調査事由 | 駐車場造成 |
| 3 調査方法 | 試掘調査～遺構保存措置 | 4 調査期間 | 平成21年5月19日 |
| 5 調査面積 | 244㎡ | 6 調査員 | 今野公顕 |
- 7 確認遺構 平安時代の掘立建物跡柱穴1口、上坑7基、溝跡1条
8 出土遺物 平安時代のあかやき土器・土師器破片
9 調査概要 遺跡は市街地の南西部、平安時代の城柵志波城跡外郭東辺から東方500m、北上川と築石川によって形成された沖積段丘上に立地する。トレンチによる試掘調査で現地表面から約0.15～0.25m下部の褐色土層面で遺構確認を行なった。検出された遺構は過去に周辺域の調査で検出された平安時代（10世紀半ば頃）の大形掘立建物跡等の時代に関連するものと考えられる（遺構検出のみ）。



大宮北遺跡第15次調査区位置図



試掘調査状況

(7) **新山館遺跡第11次調査**

- | | | | |
|--------|---------------|--------|-------------|
| 1 調査地 | 盛岡市茶畑2丁目31-12 | 2 調査事由 | 駐車場造成 |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査 | 4 調査期間 | 平成21年12月24日 |
| 5 調査面積 | 92㎡ | 6 調査員 | 今野公顕 |
- 7 確認遺構 平安時代の堅穴住居跡2棟、中世以降の溝跡3条
8 出土遺物 平安時代の土器（土師器坏・甕、須恵器甕）破片
9 調査概要 遺跡は市街地の南部、北上川と築川の合流点に形成された河岸段丘上に立地し、築川右岸に位置する。調査区に南北方向のトレンチを設定し、試掘調査を実施。現地表面から0.5～1.0m下部の暗褐色土～褐色土層面で確認作業を行なった。確認された遺構から古代の集落及び中世以降の居館等が存在が想定される（遺構検出のみ）。



新山館遺跡第11次調査区位置図



試掘調査状況

(8) 高橋A遺跡第4・5次調査

- | | | | |
|--------|---|--------|-----------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市永井第24地割34-2ほか | 2 調査事由 | 宅地造成 |
| 3 調査方法 | 試掘調査～本調査 | 4 調査期間 | 平成21年4月6日、6月29日～7月15日 |
| 5 調査面積 | 1,400㎡ | 6 調査員 | 花井正香、佐々木亮二 |
| 7 検出遺構 | 奈良時代の竪穴住居跡9棟（2棟は3次調査に続く）、土坑6基、溝跡1条、焼上遺構1基 | | |
| 8 出土遺物 | 奈良時代の土師器（甕・坏）、土製品（紡錘車）、砥石 | | |
| 9 調査概要 | 遺跡は市街地南部の都南地区に位置する。北上川右岸の旧奥州道中沿いの微高地（低位段丘）には百目木遺跡や西鹿渡遺跡など大規模な古代集落跡が確認されており、本遺跡も過去の調査成果から見て、まとまりを持った集落跡と考えられ、今次調査でも約7m四方の家父長クラスの住居から2.2mクラスの小形の住居など、多数の遺構が検出された（本報告書刊行済み）。 | | |



高橋A遺跡第5次調査区位置図



調査区全景

(9) 西鹿渡遺跡第25次調査

- | | | | |
|--------|--|--------|-------------|
| 1 調査地 | 盛岡市二本柳第2地割32-1 | 2 調査事由 | 民間福祉施設建設 |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査 | 4 調査期間 | 平成21年12月25日 |
| 5 調査面積 | 282㎡ | 6 調査員 | 今野公顕 |
| 7 確認遺構 | 奈良時代の竪穴住居跡2棟 | | |
| 9 調査概要 | 遺跡は市街地南部の都南地区、北上川右岸の自然堤防上（低位段丘）に立地し、古代の大規模集落跡が確認された百目木遺跡の北部に位置する。造成予定地内に東西方向4本のトレンチを設定し、検出作業を行なった結果、北半部から竪穴住居跡が2棟確認した（遺構検出のみ）。 | | |



西鹿渡遺跡第25次調査区位置図



試掘調査状況

(10) 古館遺跡第9次調査

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1 調査地 盛岡市西見前第15地割9-1 | 2 調査事由 共同住宅建築 |
| 3 調査方法 試掘調査～遺構保存措置 | 4 調査期間 平成21年4月10日 |
| 5 調査面積 70㎡ | 6 調査員 室野秀文 |
| 7 確認遺構 平安時代の竪穴住居跡2棟、土坑3基 | 8 出土遺物 平安時代の上師器・須恵器破片 |
- 9 調査概要 遺跡は市街地南部の都南地区、北上川右岸の低位段丘に立地し、遺跡の中央に旧奥州道中(街道)が縦貫している。計画される敷地内に東西方向3本のトレンチを設定。中央部と北半部から竪穴住居跡及び土坑が確認された(遺構検出のみ)。



古館遺跡第9次調査区位置図



試掘調査状況

○個人住宅建築等

(1) 西鹿渡遺跡第23次調査

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1 調査地 盛岡市三本柳第2地割16-35 | 2 調査事由 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 本調査 | 4 調査期間 平成21年6月1日～6月12日 |
| 5 調査面積 80㎡ | 6 調査員 菊地幸裕、鈴木賢治 |
| 7 確認遺構 時期不詳の竪穴状遺構1基、土坑3基 | 8 出土遺物 奈良時代の土器破片約100点 |
- 9 調査概要 遺跡は市街地南部の都南地区、北上川右岸の自然堤防上(低位段丘)に立地する。3月18日実施の試掘調査で確認された遺構を精査し、奈良時代(8世紀頃)と考えられる隅丸長方形ないし不整形の土坑を検出した。



西鹿渡遺跡第23次調査区位置図



調査区全景

(2) 新堰端遺跡第10・11次調査

- | | |
|---------------------|-------------------------------|
| 1 調査地 盛岡市下太田字新堰端2-9 | 2 調査事由 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 試掘～本調査 | 4 調査期間 平成21年8月11日、8月19日～8月31日 |

- 5 調査面積 233㎡
- 6 調査員 菊地幸裕、今野公顕、鈴木賢治
- 7 検出遺構 溝跡1条
- 8 出土遺物 土師器甕
- 9 調査概要 遺跡は市街地の西部、北上川と零石川によって形成された沖積段丘面に立地。古代城柵志波城跡外郭南門跡から東方300mに位置する。調査区北端部で東西方向に走る溝跡の南半部を検出。溝跡の大半は調査区外に延伸するが、検出部分で上端部幅2.7m以上、基底部幅1.8m以上、深さ1.0mを測る。出土した土器は球胴状の体部を呈する土師器甕で、上半部のみ破片ではあるが、口縁部に朱による円文と線縦文が施されている。今次調査の溝跡は昨年度に西方の田貝遺跡第11次調査で確認されたS D001溝跡に繋がる位置にあり、隣接する志波城外郭築地線から108m（1町）の距離で平行に走ることから志波城に関連性する施設と考えられる。



新堰端遺跡第10・11次調査区位置図



調査区全景



溝跡断面



出土遺物（土師器甕）

(3) 落合遺跡第16次調査

- 1 調査地 盛岡市下米内1丁目139-1の一部
- 2 調査事由 個人住宅建築
- 3 調査方法 トレンチによる試掘調査
- 4 調査期間 平成21年8月11日
- 5 調査面積 513㎡
- 6 調査員 花井正香
- 7 検出遺構 時期不詳の土坑1基、ビット3口及び縄文時代後期～晩期の遺物包含層
- 8 出土遺物 縄文時代後期～晩期の土器・石器
- 9 調査概要 遺跡は市街地の北東部、中津川と米内川の合流点から北西100mの中津川右岸の低位段丘に立地。現況は畑地で、計画地内に南北方向3本のトレンチを設定。現地表面より約0.2～0.5m下部の黒～暗褐色土層面で遺構・遺物を確認した（遺構検出のみ）。



落合遺跡第16次調査区位置図

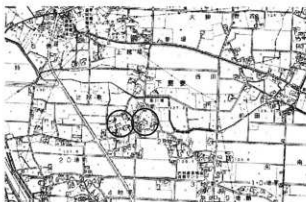


試掘調査状況

(4) ³²⁶ ³²⁶ 二又遺跡第8次調査

- 1 調査地 盛岡市下飯岡第1地割34-11ほか
- 2 調査事由 個人住宅建築
- 3 調査方法 トレンチによる試掘調査
- 4 調査期間 平成21年10月26日
- 5 調査面積 118㎡ 6 調査員 今野公顕
- 7 検出遺構 近現代以降の溝跡1条
- 8 出土遺物 なし
- 9 調査概要 遺跡は市街地の西南部、北上川と雫石川によって形成された沖積段丘の微高地

に立地する。トレンチによる試掘調査で現地表面から約0.5～1.0m下部の褐色土層面で遺構確認を行った。調査区の南半部の多くは低地となり、東寄りに南北方向の溝跡を確認。掘込面及び埋土状況から近現代以降の時期に属すると思われる。



二又遺跡第8・9次調査区位置図

(5) ³²⁶ ³²⁶ 二又遺跡第9次調査

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 調査地 盛岡市下飯岡第1地割56-9 2 調査方法 トレンチによる試掘調査 3 調査面積 171㎡ 4 検出遺構 平安時代の竪穴住居跡6棟 5 調査概要 遺跡は市街地の西南部、北上川と雫石川によって形成された沖積段丘の微高地に立地する。トレンチによる試掘調査で現地表面から約0.25～0.4m下部の褐色土層面で遺構確認を行った。調査の結果、平安時代の竪穴住居跡と考えられる一辺3～4mの方形のプランが6箇所確認された。今次調査区は東側に旧河道を望み、段丘縁部に位置することから、集落の中心部と想定される。 | <ol style="list-style-type: none"> 6 調査事由 個人住宅建築 7 調査期間 平成22年3月4日 8 調査員 今野公顕 9 出土遺物 平安時代の土器破片 |
|--|---|



第8次 試掘調査状況



第9次 試掘調査状況

報告書抄録

ふりがな		所在地		緯度		経度		測点門		調査項目	
番号	名称	市町村	番地	北緯	東経	測点門	調査項目	測点門	調査項目	調査項目	調査項目
0300	大宮区-8区	埼玉県大宮市	大宮区-8区	39° 41' 43"	141° 06' 56"	2009.10.19 ~ 12.18	1.20		2009.10.19 ~ 12.18	1.20	2009.10.19 ~ 12.18
0301	大宮区-8区	埼玉県大宮市	大宮区-8区	39° 40' 56"	141° 01' 08"	2009.9.7 ~ 12.24	1.732		2009.9.7 ~ 12.24	1.732	2009.9.7 ~ 12.24
0302	大宮区-8区	埼玉県大宮市	大宮区-8区	39° 40' 54"	141° 06' 15"	2009.9.7 ~ 12.24	363		2009.9.7 ~ 12.24	363	2009.9.7 ~ 12.24
0303	大宮区-8区	埼玉県大宮市	大宮区-8区	39° 40' 53"	141° 08' 18"	2009.1.7 ~ 12.24	23750		2009.1.7 ~ 12.24	23750	2009.1.7 ~ 12.24
0304	大宮区-8区	埼玉県大宮市	大宮区-8区	39° 42' 46"	141° 11' 12"	2009.6.1	513		2009.6.1	513	2009.6.1
0305	大宮区-8区	埼玉県大宮市	大宮区-8区	39° 42' 28"	141° 09' 49"	2009.10.10 ~ 5.25	540 (2009.10.20)		2009.10.10 ~ 5.25	540 (2009.10.20)	2009.10.10 ~ 5.25
0306	大宮区-8区	埼玉県大宮市	大宮区-8区	39° 43' 32"	141° 08' 34"	2009.10.20	1011		2009.10.20	1011	2009.10.20
0307	大宮区-8区	埼玉県大宮市	大宮区-8区	39° 44' 20"	141° 08' 50"	2009.6.1 ~ 6.22	430		2009.6.1 ~ 6.22	430	2009.6.1 ~ 6.22
0308	大宮区-8区	埼玉県大宮市	大宮区-8区	39° 41' 07"	141° 07' 00"	2009.6.19	244		2009.6.19	244	2009.6.19
0309	大宮区-8区	埼玉県大宮市	大宮区-8区	39° 41' 17"	141° 09' 59"	2009.12.24	92		2009.12.24	92	2009.12.24
0310	大宮区-8区	埼玉県大宮市	大宮区-8区	39° 39' 01"	141° 00' 33"	2009.1.6 (2009.5.25 ~ 7.15)	1.800		2009.1.6 (2009.5.25 ~ 7.15)	1.800	2009.1.6 (2009.5.25 ~ 7.15)
0311	大宮区-8区	埼玉県大宮市	大宮区-8区	39° 38' 52"	141° 09' 49"	2009.6.1 ~ 6.12 (2009.6.19 ~ 8.2)	80 (2009.6.19 ~ 8.2)		2009.6.1 ~ 6.12 (2009.6.19 ~ 8.2)	80 (2009.6.19 ~ 8.2)	2009.6.1 ~ 6.12 (2009.6.19 ~ 8.2)
0312	大宮区-8区	埼玉県大宮市	大宮区-8区	39° 38' 37"	141° 10' 04"	2009.4.10	70		2009.4.10	70	2009.4.10
0313	大宮区-8区	埼玉県大宮市	大宮区-8区	39° 42' 30"	141° 11' 03"	2009.6.11	96		2009.6.11	96	2009.6.11
0314	大宮区-8区	埼玉県大宮市	大宮区-8区	39° 40' 55"	141° 06' 33"	2009.8.11 (2009.8.19 ~ 8.2)	111 (2009.8.19 ~ 8.2)		2009.8.11 (2009.8.19 ~ 8.2)	111 (2009.8.19 ~ 8.2)	2009.8.11 (2009.8.19 ~ 8.2)
0315	大宮区-8区	埼玉県大宮市	大宮区-8区	39° 40' 19"	141° 07' 38"	2009.10.20 (2009.10.20)	118 (2009.10.20)		2009.10.20 (2009.10.20)	118 (2009.10.20)	2009.10.20 (2009.10.20)

盛岡市遺跡の学び館 平成21年度 館報

2011年2月28日 発行

発行 盛岡市遺跡の学び館
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番1号
電話 019-635-6600 FAX 019-635-6605
E-mail iseki@city.morioka.iwate.jp
URL [http://www.city.morioka.iwate.jp/14kyoiku/
iseki/manabikan/index.html](http://www.city.morioka.iwate.jp/14kyoiku/iseki/manabikan/index.html)

印刷 株式会社白ゆり
〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ6丁目1-50
電話 019-643-6060